

てらこや 三十六の瞳 ♪ ・ ・ ・ こんな12月だったよの巻

水ぼうそう旋風
吹き荒れるー!!

12月13日(木) 弥山登山 3度目の正直
晴れ ☺



じっと見つめ合う♡
水ぼうそうでお休みも多かった宮島。
グループでの現地集まり成功!
チームで協力し合って登る姿も
見られて、うれしかったです。



やはり大きな岩に登らないとネ!



揚げもみじに淹される〜
あんこ、クリーム、チーズ、瀬戸内レモン
の味にする?? ♪



今年は新ルート!! ずっと歩き続けました。
長い距離を 岩、崖道



椅子が!! 高い高い
で足具合
ここで火も
焚けるね。



手作り
ハンセン
灯籠

今月のてらこや
は...



卓球チーム到来♪

山探険に行くぞ!!



きら! 基地!!

⑤と⑥も
2日間ずう「てらこや体験」
に来てくれました。
4月から仲間入り決定!!
W-1, 待ってるよ〜

木の枝、葉
竹などを使って
居心地のよい
空間を作ります。



12月20日(木) しめ縄作り



集中して。力をこめて。2019年よい年になりますように...

12月18日(火)
おべんとうの日
ウェルネスパークへ

「ウェルネスパークの遊具で
いっしょを歩きたい!!!」
その熱い思いで実現した
一日。徒歩組は往復
約20キロ...

12月11日(火)
ふたりキッチン



ごはん、味噌汁、八宝菜
春雨サラダ、キャベツのいんじく
しょうゆ和え、大根の煮物、ゆで野菜マヨネーズ

「新しいことにチャレンジしてよかった!」
私は川下りキャンプに行ったことかとてもいんじく
のっています。私はあまりやなことないことにチャレンジ
するのが二かたなのであまりやらないのですが、その時は
思いきって行ってみようとききました。まえに(A)からか
行った時とても楽しそうだったし、今回は(E)と(R)も
行くというので私も行ってみようとききました。それ行って
みたら何回かいんじく所はあったけど、いんじく楽し
かったし、自分の手でこの船を動かしている!という
かんかかど、とてもしんせん、ふんばは単車とは違い
たい自分のはのってるといふのでおもしろかったです。それ
や、やはり行くときめてよかったと思いました。それ、それ
からは私は何かまよっている時はこのことを思い
出して、いんじくことにチャレンジしました。私はやはり
り何でもやってみるのが大いんじくかなあと思いましたが、
これからいんじくできるとかあると思います。私は
私はこのことを思い出して、いんじくことにチャレンジ
しようと思いました。

2学期を
ふり返って
M3



私はいつも「これがやりたい」というのはなく、かとい
へんきょうするのはいいやで、いつもはやりやっています。
てらこやがはじまった時からですが、つくづく「これが
やりたい」というのがありません。でもやっぱりわらいと
思っているわけではありません。私はきまてないプランを
なんやかんやでやります。それにきまてないならそれでいいと
思っています。ただたまに「とてもやりたい」という強い思い
をもっているんじゃないかな〜? と思います。(ゲーム以外で)
でもそれに自分が気づいてないのがかたしめしいですが、
私はこれからいんじくきまてない日々を生きて行きます。

- 自転車組
U K E U美 C Z
歩き組
H I A 留 G S R

12月のてらこやタイム

12/7(金) 5つのアイテムを選んで、月面
基地にたどりつけ!
〜いんじくで考える、いんじくで考える〜
12/14-19 大掃除



「ちぢこまる」

新年最初のスタッフミーティング。話題は今日のてらこやミーティング。覇気が感じられず、あつつんが3学期どんなことをやりたいかをこどもたちに問う場面があった。ちぢこまっているなあ。型にはまっていつているのなあ。子どもたちも慣れてきたから？思春期前期だから・・・？外に原因を求めるのは簡単で、こどものせいにしてしまえば自分の不安な気持ちも気楽になる。しかし、いや待てよ、そこで自分に矢印を向ける。きつい作業。わたしの在り方、声かけがそうさせていないか・・・管理、把握しようとする、そうだね、失敗させないようにしてるよね、わたし・・・うだうだ・・・「スタッフが、大人が楽しもう！そこからだ～！」あつつんが言う。そう、わたしがちぢこまっているのだ。心が踊ることしてるか、わたし！？なんかこれがずっとテーマだ。

こどもたちも引いて見れば、一見ちぢこもって見えても、見えない部分でもものすごく動いている。それをいつも感じていよう。

全てにリズムがある。いい意味で波がある。季節は冬。ある意味、ちぢこまる季節だ。そしてその間、内なる力をため込んでいる。自然も大きく深呼吸している時間。新しい年の幕開け。もっともっとわたしも自分の心の声に目を向けよう。「未知へ飛び込む」、長年飾っていた絵にそんな言葉が書かれていた。さあ、3学期、スタート！

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|------------|---------------------|-------------|----|------------|----|
| 6 | 7 | 8 3学期スタート | 9 | 10 | 11 書き初め | 12 |
| 13 | 14 成人の日 | 15 | 16 おもちつき | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 てらこや どんど焼き | 30 | 31 | 1月 | |

○ こどもたちがお昼ごはんを考える日(緑色の日) 16日(水), 29日(火) (プランや天候によって変更の可能性があります。)

◆♪*... ◆♪*... ◆♪*... ◆♪*... ◆ お知らせ ◆♪*... ◆♪*... ◆♪*... ◆♪*... ◆

2月は雪山へ \ (^o^)/ 雨カッパをロッカーへ♪ & お古の洋服

康司さんと一緒に雪山探険に行く予定です。詳細が決まりましたら、お知らせします!! 参考までに昨年度の費用です。(1泊2日)

(参考) ¥3000 (食費・交通費・宿泊費)
1人分
→ スキー希望者はスキーレンタル¥2,500+
リフト券 ¥2,000

あ
り
ま
さ
う
す
ま
い
ま
す

雨の日に思いっきり活動できるように、常時カッパをロッカーの中においておきます。こどもたちへの声かけ、準備など、どうぞよろしくお願ひします。

おうちえんのもんちゃんから、130~160の洋服をいただきました。特に男の子用がたくさんあります。てらこやにありますので、どうぞ必要なものをご自由に!

***** 『火を焚きなさい』 ~「びろう葉帽子の下で/山尾三省詩集」(1993年、野草社刊)より~

山に夕闇がせまる 子供達よ ほら もう夜が背中まできている 火を焚きなさい
お前達の心残りの遊びをやめて 大昔の心にかえり 火を焚きなさい 風呂場には 充分な薪が用意してある
よく乾いたもの 少しは湿り気のあるもの 太いもの 細いもの よく選んで 上手に火を焚きなさい

少しくらい煙たくたって 仕方ない がまんして しっかり火を燃やしなさい
やがて調子が出てくると ほら お前達の今の心のようなオレンジ色の炎が いっしんに燃え立つだろう
そうしたら じっとその火を見詰めなさい いつのまにか 背後から 夜がお前を すっぽりつつんでいる
夜がすっぽりとお前をつつんだ時こそ 不思議の時 火が 永遠の物語を始める時なのだ

それは 眠る前に母さんが読んでくれた本の中の物語じゃなく 父さんの自慢話のようじゃなく
テレビで見れるものでもない お前達自身が お前達自身の裸の眼と耳と心で聴く お前達自身の 不思議の物語なのだよ
注意深くいてねいに火を焚きなさい
火が いっしんに燃え立つように けれどもあまりぼうぼう燃えないように 静かな気持で 火を焚きなさい

人間は 火を焚く動物だった だから 火を焚くことができれば それでもう人間なんだ
火を焚きなさい 人間の原初の火を焚きなさい やがてお前達が大きくなって 虚栄の市へと出かけて行き
必要なものと 必要でないもの見分けがつかなくなり 自分の価値を見失ってしまった時
きっとお前達は思い出すだろう すっぽりと夜につつまれて オレンジ色の神秘の炎を見詰めた日々のことを

山に夕闇がせまる 子供達よ もう夜が背中まできている この日はもう十分に遊んだ 遊びをやめてお前達の火にとりか
かりなさい 小屋には薪が充分に用意してある 火を焚きなさい よく乾いたもの 少し湿り気のあるもの 太いもの
細いもの よく選んで 上手に組み立て 火を焚きなさい 火が いっしんに燃え立つようになったら そのオレンジ色
の炎の奥の金色の神殿から聴こえてくる お前達自身の 昔と今と未来の不思議の物語に耳を傾けなさい